

中川村新たな学校づくりプロジェクト その3

新たな学校の コンセプト (構 想)

中川村が目指す新たな学校の姿

美しい村・中川村を再発見し、自ら楽しみ次世代につなげる「みんなの学校」

学校教育が目指す子どもの姿

自ら考え、判断し、行動して、人生を開拓する力を育む



第5回 部会

令和13年度開校を目指している、小中学校を統合した義務教育学校について、中川村新たな学校づくり委員会を組織し、令和6年度は主に教育内容についての検討を行いました。

部会検討の取り組み

20代の若者3人を含めた公募・推薦委員7人に加え、令和6年9月から令和7年1月までの5回の部会で検討を進めました。

部会検討は、ワークショップ方式で自由に意見を出し合えるようにし、探究学習や学校と地域の連携・協働について協議しました。回を重ねるごとに熱く意見が交わされるとともに、笑顔の絶えない会議となりました。また、検討にあたり、小中学校の授業参観、東京都渋谷区本町学園の視察なども行いました。



第1回 子ども部会

また、西小学校では、子ども委員が発案し2～6年生へ独自にアンケートを取ってくれました。アンケート結果については、今の学校でいいと思うところ「元気」、新しい学校にあったらいいもので「エレベーター」などが意見として多く出されています。

令和7年度も引き続き、子どもたちの意見を学校づくりへ反映させていけるように取り組んでいきます。

子ども部会の取り組み

子どもたちの意見を取り入れるために、小中学校児童生徒会の正副会長7人で組織された子ども部会を3回開催しました。

子ども部会では、「こんな学校だったらいいと思うこと」や部会検討で出た大人の意見に対して子どもの目線で検証してもらうといったことも行いました。

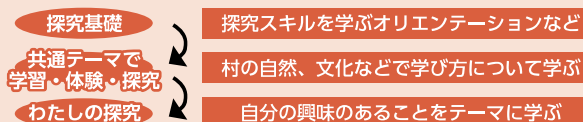
表 I 令和6年度 部会検討まとめ

探究学習

「ふるさと中川学(仮称)」の創設

- 保育園から中学校までつながる探究的な学び
- 教科学習と対になる、自ら問いを立て答えを出す探究による学び

○各学習課程での学びの流れ



地域と協働

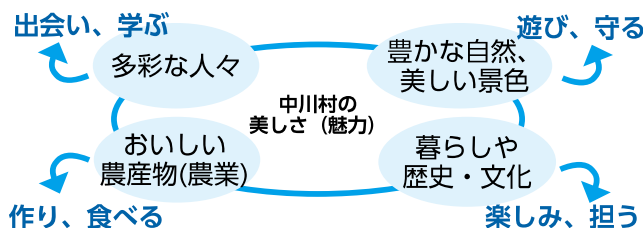
学校と地域をつなぐ仕組みをつくる

- 学校と地域が力を合わせて学校の運営に取り組む学校運営協議会の設置(国型コミュニティスクール)
- 中川村ならではの学校と地域をつなぐ仕組みづくり
- 学校と地域をつなぐコーディネーターの配置(あるいはその機能を協議会がもつ)
- 地域が学校と協働して教育に取り組む



学びの題材

中川村の美しさ(魅力)から学ぶ
⇒ ワクワク学び、リアルに体験することを目指して



校舎の工夫

コンセプトを実現し、
地域みなさんが寄りやすい校舎

- 施設の工夫についての意見
地域の誰もが使える図書館・食堂・カフェ
展示スペース、学べる教室、ICTの充実 など
- 入りやすさの工夫についての意見
一足制の導入、1人になれたり、ごちゃまぜになれたりする空間、エレベーターの設置 など



令和6年度のまとめ

2月27日(木)に開催した第2回新たな学校づくり委員会(本会)において、表1のように部会検討のまとめを行いました。こちらを基本計画案に盛り込んでいく方向です。

また、今年度を振り返り、委員全員から参加した感想や今後の取り組みについてのご意見をいただきました。「自分の子どもが通う学校に意見を出せて楽しかった」という意見や「村民全員に知ってもらうために、新たな学校の名称を公募してはどうか」といった提案も出されました。早坂委員長からは、村民に当事者意識(エージェンシー)を持つてもらうためのポイントについて説明があり、今後に向けて「オール中川で学校づくりを進めていくために、委員が火種になって、みなさんの持っている熱い思いを地域に広めていただきたい」とまとめていただきました。



第2回 委員会

令和7年度の主な取り組み

令和6年度の教育内容の検討を踏まえ、令和7年度は校舎の姿を具体的にしていきます。

5月

- ・令和7年度新たな学校づくりシンポジウム①
村民のみなさんと新たな学校の校舎について考えます。

6月～10月

作業部会でこれまでいただいた意見を整理し、練り上げます。

10月

- ・令和7年度新たな学校づくりシンポジウム②
基本計画案と校舎構想について村民のみなさんとさらに考えます。

12月頃

- ・パブリックコメント
基本計画案などへの意見募集を行います。
※この間、新たな学校づくり委員会でも検討を重ね、令和8年1月には基本計画と校舎の構想を決定する予定です。

新たな学校の建設予定地は、現中川中学校の敷地(37,300m²)となります。よって、工事期間中に在籍する子どもにも配慮した建築計画の立案や牧ヶ原文化公園との連携について考えていきます。また、児童クラブなどの学校以外の施設についても検討していく予定です。

部会検討では、学校の敷地内にビオトープ(森、川)や畑の設置、生き物の飼育場所がほしいといった意見もいただきました。



TEL 88-11005
教育委員会総務学校係

中川村新たな学校づくりプロジェクト
記事ID:10267



新たな学校づくりの取り組みは村公式ホームページにて随時掲載しています。部会や子ども部会で出た意見のまとめも掲載していきますのでご覧ください。ぜひ、これからの新たな学校づくりに参画をお願いします。

新たな学校の校舎について一緒に考えてみませんか

5月17日(土)に、令和7年度の取り組みのキックオフとして、新たな学校づくりシンポジウム①を開催します。中川村新たな学校づくり委員会へ建築関係の専門アドバイザーとしてご協力いただく早稲田大学建築学科の田中智之教授から、これからの時代の学校校舎について話題提供いただき、住民参加型のワークショップで、早稲田大学の建築を専攻する学生も加わり新たな学校の校舎について考えます。

詳細は5月上旬の新聞に折込予定のチラシか村公式ホームページをご覧ください。

田中智之氏
プロフィール

早稲田大学 理工学術院
創造理工学部 建築学科 教授 博士(建築学)

中川村新たな学校づくりシンポジウム①を開催します!
記事ID:11509

